

伊勢崎市史編さん基本計画

令和5年11月

伊勢崎市

1 市史編さんの趣旨

(1) 経緯

平成 17 年（2005）1 月 1 日に旧伊勢崎市・旧赤堀町・旧境町・旧東村の 1 市 2 町 1 村が合併し、新たな伊勢崎市が誕生した。旧市町村時には、『伊勢崎市史』が昭和 55 年～平成 3 年（1980～1991）、『赤堀村誌』が昭和 53 年（1978）、『赤堀町誌』が平成 16 年（2004）、『境町史』が昭和 59 年～平成 9 年（1984～1997）、『東村誌』が昭和 54 年（1979）に刊行された。

しかし、各市町村史誌の刊行から 20 年以上が経過する間に、各分野において数多くの新たな資料の発見や地域研究の進展があった。合併市町村それぞれの特色を活かした地域づくりを進めていくためには、これまで積み重ねられてきた歴史を顧みるとともに、新たな成果を加えて詳しく記録して共有し、次世代へ伝えていくことが求められている。

そして、現在の伊勢崎市は様々な由来をもつ市民が多く暮らし、県内外から移って来る人も多い地域となっている。こうした多様性をもつという特色を活かし、次世代に持続可能な地域づくりを引き継ぐことも、私たちの重要な役目とされている。

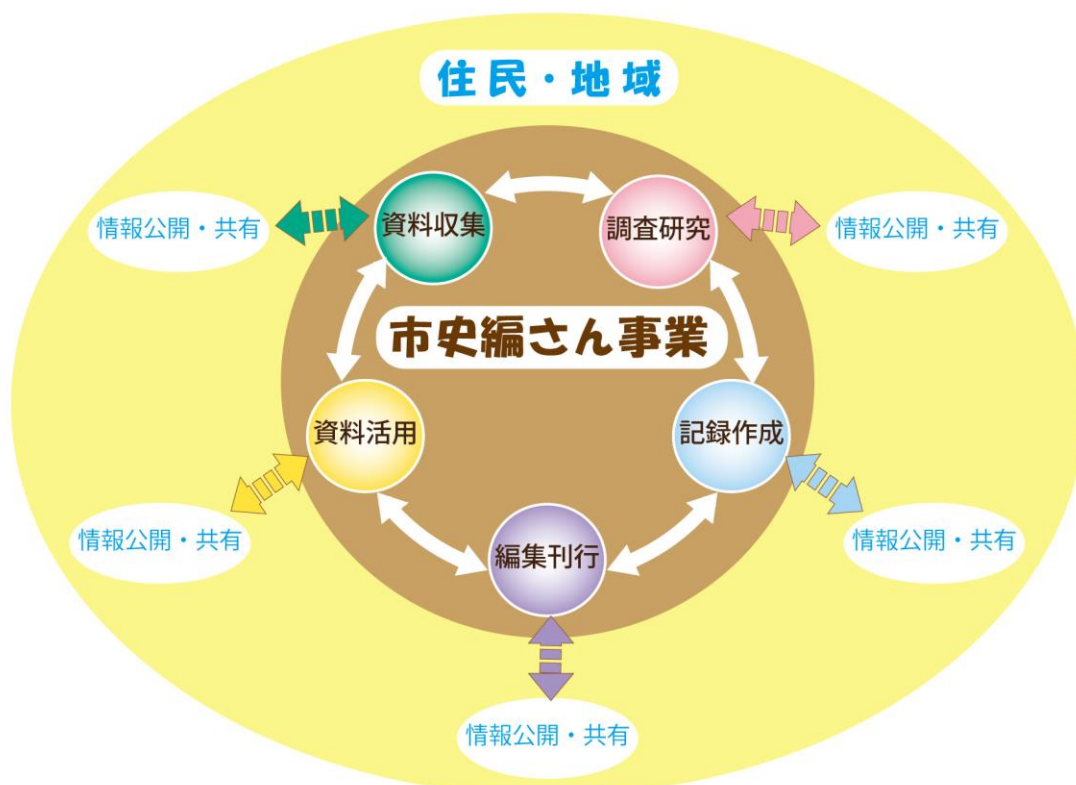
これらの状況を踏まえて、これからの伊勢崎市が着実に発展していくのに資するものとして、新たな市史編さん事業を立ち上げることにした。

(2) 目的

本市の歴史的・文化的特性への理解を深め、魅力ある共生社会の形成を促すことを目的とする。

これを達成するために、次の 5 つを中心に事業を行う。

- ① 資料収集 埋もれている資料も対象にして、情報を調査整理して後世へ継承するための基盤をつくる。
- ② 調査研究 各分野における調査研究を進めて、その成果を速やかに分かり易い形で提供する。
- ③ 記録作成 収集・調査研究した資料を整理し、データベースを作成するなど、保存を図るとともに活用できるようにする。
- ④ 編集刊行 これからのまちづくりの基盤となる市史を編集し、手に取り易く活用し易い形で刊行する。
- ⑤ 資料活用 作成したデータベースを基に、デジタルアーカイブを構築して資料の活用を促進する。



[概念図]

2 基本方針

目的を達成するため、次の3つの方針に基づいて事業を実施する。

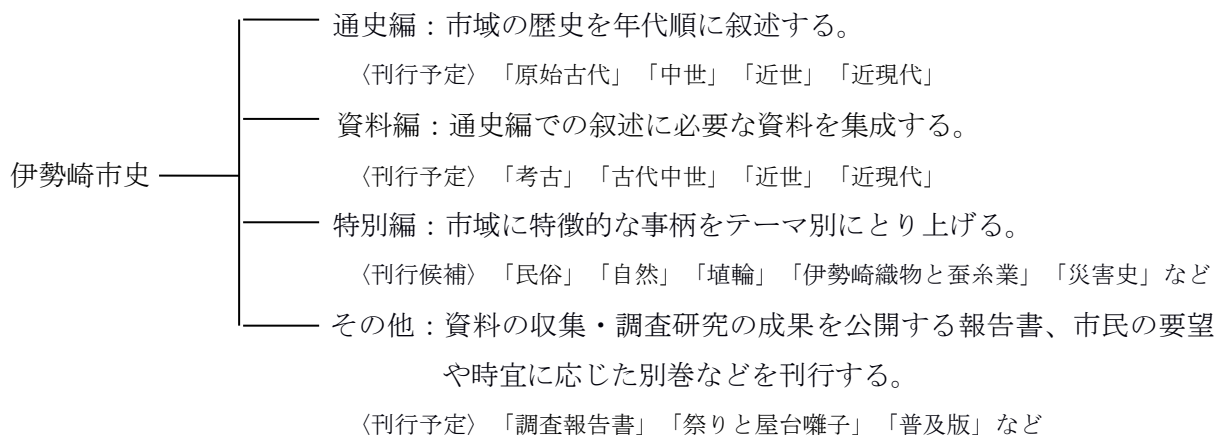
- (1) 平成17年1月1日の合併によって広がった伊勢崎市域は、北部は赤城山南麓、南部は利根川沿岸という変化にとんだ自然環境に恵まれ、豊富な資源と多様な地形が生み出した景観が各時代において形成されてきた。
⇒ 各時代、各地域における人々の営みを含めて、それと自然環境とが一体となった景観の復原を行い、その成果を市史の刊行を通して公開する。
- (2) 頻発する大地震や集中豪雨をはじめとする様々な災害から、市域に所在する資料や記憶を守る方策を講じることが社会的課題とされている。
⇒ 市域における各時代、各地域の資料の調査と収集を計画的に進め、被災による資料の遺失や記憶の喪失を防ぐため、継続的に所在確認やデータベース化を実施する。
- (3) これからの地域づくりを進める上で、国籍や障害、性別などの違いのほか、様々な価値観や考え方をもつ市民がお互いを認め合い、誰もが活躍できる共生社会の実現に向けた取組が求められている。
⇒ 市域の自然や風土、歴史や暮らしの中で育まれてきた知恵を明らかにして、世代間の継承を図りながら、さまざまな立場の市民が共生する活気ある地域づくりに寄与していく。

3 事業計画

(1) 期間

平成 17 年 1 月 1 日の合併から 30 周年となる令和 17 年（2035）の完成を目指す。この期間については、各年度の刊行状況に応じて随時見直しを図るものとする。

(2) 構成と内容



○ 体裁 A5 判または B5 判 500 頁前後、オールカラー

○ 部数 各巻 700 部前後

(3) 関連事業

- 講演会・シンポジウムなどの開催
- 「広報いせさき」での連載
- 伊勢崎市ホームページへの掲載
- 図書館での展示の実施

4 組織

○ 伊勢崎市史編さん委員会（任期：2 年、委員 15 人）

○ 伊勢崎市史編さん専門委員会（任期：任務終了まで、専門部会数：6 部会）

◇ 事務局 伊勢崎市教育委員会図書館課市史編さん係

5 刊行計画

	書名	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17
通史編	『原始古代』											刊行			
	『中世』												刊行		
	『近世』													刊行	
	『近現代』														刊行
資料編	『考古』1～3							刊行		刊行		刊行			
	『古代中世』							刊行							
	『近世』1・2										刊行		刊行		
	『近現代』													刊行	
特別編	『民俗』														刊行
	『自然』						刊行								
	『埴輪』 新伊勢崎市誕生20周年記念			刊行											
	『石造物』														
	『蚕糸業』														
	『災害史』														
	『絵図・地図資料』														
	『美術工芸資料』														
その他	『祭り囃子と屋台』														
	『情報のネットワーク —二つの風説留』				刊行			刊行							
	『自然観察ガイド』							刊行							
	『民俗調査報告書』1～3				刊行				刊行			刊行			
	事業開始準備・組織体制作り														
	基本計画策定・基礎調査開始														
		書名は現在の予定 刊行時期は未定													

※特別編・その他については、上記のほか、必要に応じた刊行をおこなっていく。